

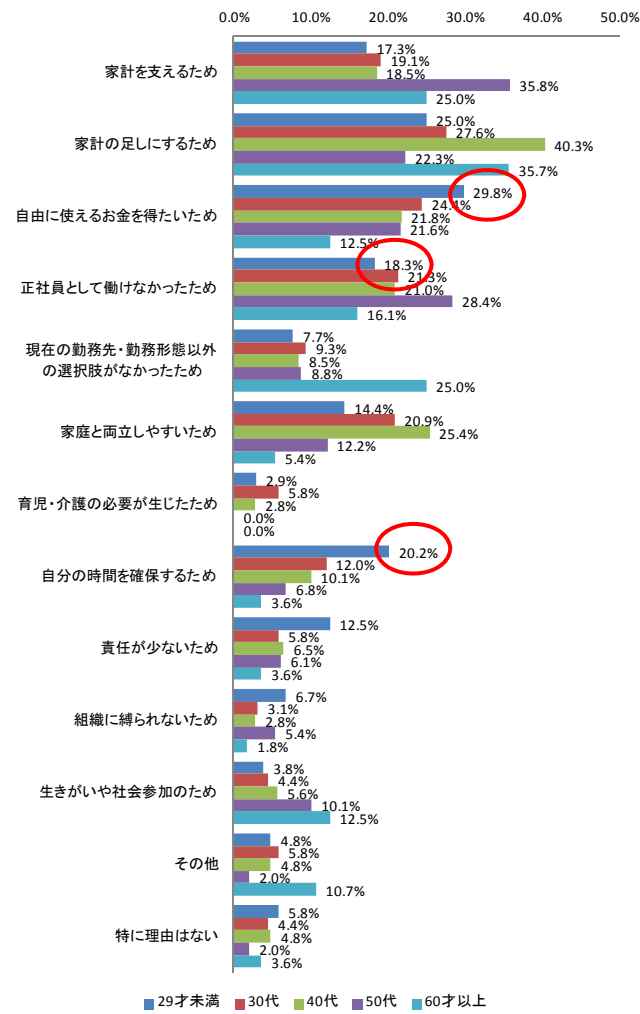
愛知県産業労働計画策定基礎調査 従業員アンケート調査結果[概要版]

■調査概要

- 調査方法 インターネットリサーチ企業を活用、愛知県内の登録モニタを対象として調査
- 調査期間 平成26年11月28日～11月29日
- 回収数 2,000
- 備考 平成24年就業構造基本調査による男女別による雇用形態の構成比に応じて回答者数を配分。ただし、配分が100人に満たない雇用者属性については、最低サンプル数を100人として、残数を他の属性の構成比で配分。

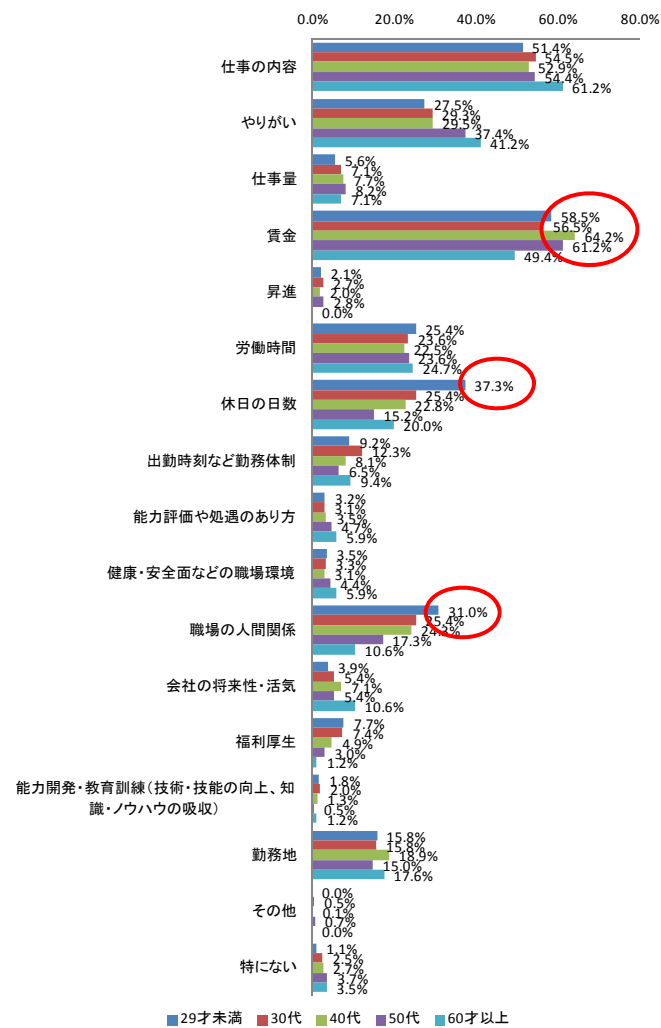
○現在の就業形態を選択した理由（年齢階層別）

- 現在の職業形態が「パート・アルバイト」、「契約社員・嘱託」、「派遣社員」の人について、29才未満では、「自由に使えるお金を得たいため（29.8%）」、「自分の時間を確保するため（20.2%）」であり、「正社員として働けなかったため（18.3%）」を上回る。



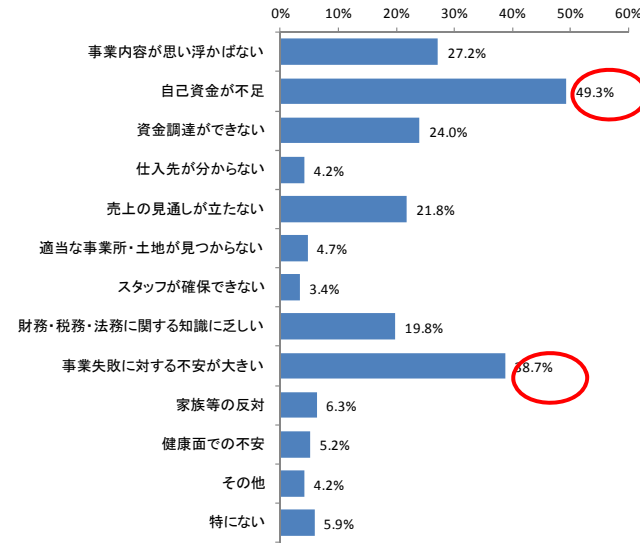
○働くうえで重要視すること（年齢階層別）

- 60才以上を除いて「賃金」が最も高い。
- 29才未満では、「休日の日数（37.3%）」、「職場の人間関係（31.0%）」が他の年齢階層に比べて突出して高く、勤労に対する価値観が大きく異なる。



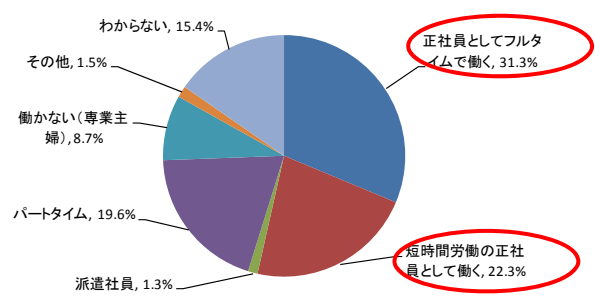
○起業しない理由（右ページ左側）

- 起業意向があった人について、「自己資金が不足（49.3%）」及び「事業失敗に対する不安が大きい（38.7%）」が突出。
- 「29才未満」及び「30代」では、「財務・税務・法務に関する知識に乏しい」が他の年齢階層に比べて多い。



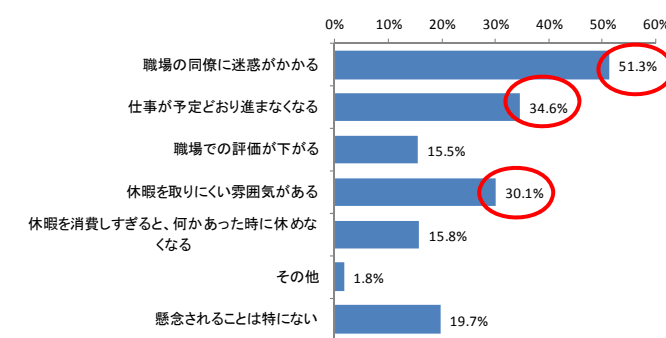
○出産後の働き方

- 子どもがいない人を対象とした出産後の女性の働き方について、「正社員としてフルタイムで働く（31.3%）」と「短時間労働の正社員として働く（22.3%）」を合わせると、正社員として働くことを希望する人が5割を超える。



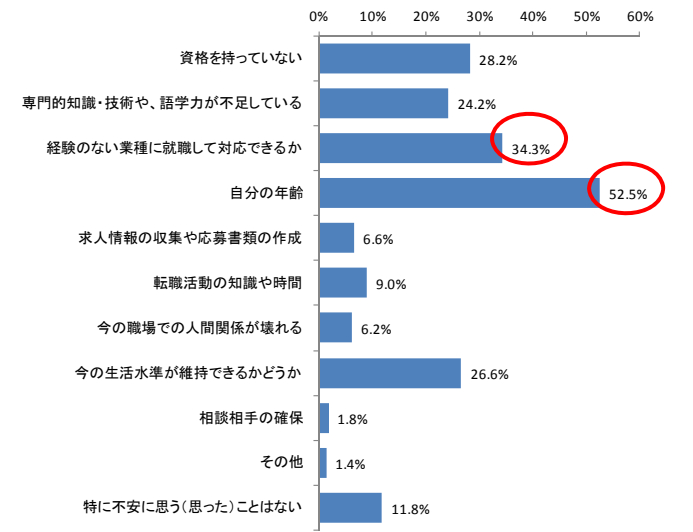
○育児・介護休暇を取得する懸念事項

- 「職場の同僚に迷惑がかかる（51.3%）」が5割を超える。
- この他、「仕事が予定どおり進まなくなる（34.6%）」、「休暇を取りにくい雰囲気がある（30.1%）」等、休暇取得による不在時を埋め合わせできる人材が十分でないと考えられる。



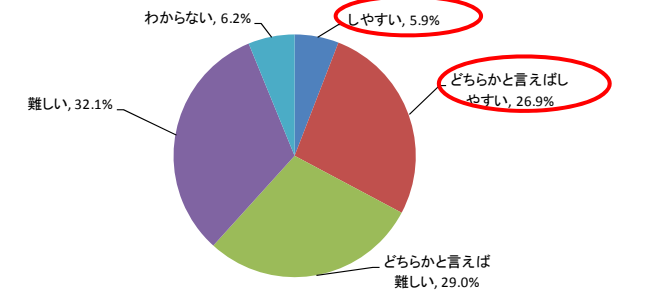
○転職を検討する際の不安（右ページ右側）

- 転職経験のある人について、「自分の年齢（52.5%）」が最多、「経験のない業種に就職して対応できるか（34.3%）」が続く。



○仕事と育児・介護の両立

- 現在の職場における働きながら育児・介護のしやすさについて、「難しい（32.1%）」と「どちらかと言えば難しい（29.1%）」を合わせると、難しいとする人が6割を超える。



○高齢者になってからの働き方（50代、60才以上）

- 60才以上は、「今の会社に勤め続けたい（34.0%）」が突出。
- 高齢者を控えた50代では、「今の会社に勤め続けたい（29.7%）」最多であるが、「正社員として、それまでの経験を生かした仕事がしたい（16.8%）」、「非正社員として働きたい（12.1%）」、「働きたくない（12.4%）」と多様化。

